

**BMW グループとフィアット・グループ・オートモービルズ、  
MINI とアルファ・ロメオにおけるプラットフォームと構成部品についての提携への合意に関する  
覚書に調印**

2008 年 7 月 8 日

ミュンヘン/トリノ発 BMW グループとフィアット・グループ・オートモービルズ (FGA) が、両社の車両モデルである、MINI とアルファ・ロメオのプラットフォームおよび構成部品の分野で提携を検討していることを発表しました。協力体制が築かれた際、BMW グループは FGA に対して北アメリカ市場におけるアルファ・ロメオの市場投入をサポートする意向です。この覚書は BMW AG 取締役、企業・ブランド開発担当のフリードリッヒ・アイヒナーと、フィアット・グループ・オートモービルズ副社長兼ビジネス開発、フィアット・パワートレイン・テクノロジーCEO のアルフレッド・アルタヴィラとの間で取り交わされました。

アイヒナーはミュンヘンにて以下のように述べています。

「われわれは現在、フィアット・グループとの間で、MINI とアルファ・ロメオ、それぞれのモデルにおける部品コンポーネントと生産体制の拡大・強化を目的に提携を検討している段階です。提携の実現によって、当社が掲げる企業戦略『Strategy Number One (ストラテジー・ナンバー・ワン)』の枠組みであるコスト削減を目指す意向です。」

また、フィアット・グループ CEO のセルジオ・マルキオーネはトリノにて以下のように述べています。

「BMW グループとの提携案はわれわれの提携戦略において非常に重要な基盤となります。自動車産業において、高い実績と定評を持つパートナーが得られること、ともに確固たる目標を掲げ、競争力を研鑽できることを大変喜ばしく思います。」

提携案に関して、両社は現在のところ、詳細の発表には至っていません。最終的な合意結果は今年末までに決定される予定です。